

「未来につなぐ公共施設を考える」 ワークショップだより

第1回未来につなぐ公共施設を考える ワークショップが開催されました！

弥富市公共施設再配置計画の策定に向けて、市民の皆さまが真に求める行政サービスを把握するとともに、今後の公共施設のあり方について意見をいただくことを目的に、ワークショップを開催しました。(全3回)

第1回目では、29名の参加者の方がA～Dの4グループに分かれ、ファシリテーターの名古屋大学大学院の恒川准教授と研究室の学生さんも加わり、住み続けたいまちにするにはどうすればよいのか、いろいろな意見を出し合いました。



平成31年1月26日(土)
総合社会教育センター 第2会議室
13:30～16:30



公共施設マネジメントを取り巻く現状について

恒川准教授から、全国的な施設の急速な老朽化や人口減少と少子高齢化、厳しい財政状況といった公共施設に関わる問題についての説明がありました。公共施設マネジメントは、まちづくりの一環として行うことが重要であることから、弥富市の強みを生かしつつ地域の課題を解決するために、市民ニーズの実態に根付いた公共サービスのあり方を考え、市民参加による施設整備のルール作りをすべきとの話がありました。



公共施設マネジメントに関する弥富市の取組みと公共施設の現状について

市の担当者からは、弥富市におけるこれまでの公共施設マネジメントに関する取組みや、公共施設の保有量、将来人口の推計結果、現在の財政状況についての説明を行いました。弥富市の人口規模に合わせた公共施設の見直しを行うために、ワークショップを通して行政と市民の目的意識を共有し、公共施設再配置計画に意見を反映させたいとの意向を示しました。

グループワークの様子 ～テーマ決め～

弥富市の良いところや問題点を挙げながら、公共施設を使って何ができるかについて話し合いました。最後に、今後のグループワークで取り組むテーマについて発表を行いました。

A グループ



- 防災
避難所を集約すべき。
- 集約
学校はみんなが納得できる編成に。
子育て支援施設、コミュニティ施設は民間との共働でより良い施設に。
- 交通
バスは、将来を見据えた運営をすべき。

B グループ



- 地域拠点の複合化
施設を縮減させるのではなく、必要な施設を集約させることで、人が地域に集まるようになる。
また、小学校などの空きスペースを活用することで、多世代間のコミュニケーションの場を作ることができる。

C グループ



- 人が集う駅前開発
開発中の駅前がよりよいものになるよう、市民目線で改めて考える。
- コミュニティの充実
弥富市全体で交流が図れるような施設のあり方を考える。
- 次世代の為の教育施設
未来につながる施設のあり方を考える。

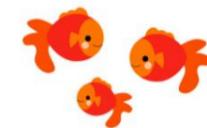
D グループ



- 機能の集約とアクセス
機能を集約した施設をつくり、合わせてバス等の公共交通を充実させるべき。
- 民間という選択肢とバランス
保育所等で民間運営によるメリットを活かしつつ、公共で必要なものは残す。
- 南側をもっと魅力的に！
南側も住みやすい地域にすべき。

次回のワークショップのご案内

「第2回 未来につなぐ公共施設を考えるワークショップ」
日時：平成31年2月9日(土) 午後1時30分～
場所：総合社会教育センター 2階 第2会議室



<「未来につなぐ公共施設を考える」ワークショップだより 第1号> 平成31年1月発行

【お問い合わせ・連絡先】

弥富市 総務部 秘書企画課 TEL:0567-65-1111 FAX:0567-52-3276